

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 3月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年 3月1日発行 通巻287号

50年の歴史に学び
次世代への一步をふみだそう

3月号目次

・ 目次	2
・ 全国評議会報告	3
・ 雪上技術講習会案内	4
・ ロングハイク報告	5
・ キリマンジャロ登山案内	6
・ ムスタン報告	7
・ 全国事務局より	10
・ 県連たより	11
・ 県連予定表	12

表紙説明

チベットとネパールを結ぶ古道・塩の道。ロマンタンの手前
仏塔とアンナプルナ1峰とニルギリ峰です。
アンナプルナ1峰は、トレッキングでは中々見る事が出来ない
が、ムスタン・塩の道では良く見えた。

第33回 房総ロングハイキング報告

桑原 ハイキング委員長

山行日 2017年1月28日(土)、29日(日) 一泊二日

参加会 岳人あびこ10、東葛山の会11、松戸山の会4、かがりび山の会1、1年さくら組1、
東葛バス組 27名

現地集合会 こまくさHC 6、ふわくHS 5、茂原道標 1、市川山の会 2(当日参加1)、ちば山の
会 1、 15(1)名 合計43(1)44名

ルート 28日(土) バス利用 江月水仙ロード 27名

鎌ヶ谷市役所 7:13 出発＝幕張 SA7:50/8:10＝鋸南富山 IC9:22＝ふらり道の駅 9:24/40＝

採石場駐車場 9:50 着 10:00 水仙ロード出発＝見返り峠 10:30＝地蔵堂 11:10/20＝水仙広場

11:30(昼食) 12:10＝ばんや 12:50 着終了 13:10 乗車＝七里川温泉 14:10 着 合流 泊

ルート 29日(日) ロングハイキング 計44名

バス 7:50 温泉出発＝清澄寺駐車場 8:55 着(JR,車組は温泉送迎バス利用) 8:00 発＝8:20 着

全員 9:10 出発＝清澄寺参拝(集合写真)＝一杯水林道＝ツクバネ檜 W0 分岐 9:50/55＝烏帽

子山 11:20＝11:25(昼食) 11:45＝硯石分岐 12:45＝鶏毛山

(W45) 13:30＝坂本駐車場 14:10 ゴール解散 14:25 其々乗車 帰路

28日(土) 晴 江月水仙ロード

快晴無風で出発時から上着はいらない様な天気にも恵まれた。この分ではさぞや水仙の花もよく観れると思いきや行けども行けどもちらほら咲いているだけだがっかりする。(後で聞いた話では蕾み時期に雪にやられたとの事、納得) その代わり川津桜と同種かの花が5分から満開と梅、蟬梅、菜の花も見る事が出来て溜飲した。

地蔵堂の展望からは富士山を真正面から見る事も出来た。ただし望遠で撮ったがぼやけて映った。水仙広場で早い昼食をゆっくり摂り、水仙ロードをゆっくり下り、「ばんや」に着き、トイレ、干物など買い足しして、バスに乗車今夜の宿、七里川温泉に着き入浴、炉端でそれぞれ持ち寄った干物やシイタケなど焼き、乾杯する。出来上がった頃、大広間に集合、ガイドダンス、挨拶、乾杯の後、交流会になり各会の紹介など有り、大いに交流して明日に備えて気持ちよく就眠しました。



江月水仙広場での集合写真

2017 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

昨年度は雪不足により中止となりましたが、今年度は改めて雪上技術講習に取り組めます。残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、県連救助隊を中心とし主要会に協力頂いて、下記の通り開催します。ので、各会よりの積極的な参加を望みます。

記

主催：県連教育遭難対策委員会

主管：県連救助隊

協力：ちば山の会 船橋勤労者山の会 千葉AC 山の会「岳樺クラブ」他

日時：4/8（土）現地集合7：30 開始8：00～13：00

実施内容：雪上技術訓練 初級及び中級

一般的な冬山登山でのロープワーク含む。

<4/9（日）>は各会で自由行動

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近 現地集合

参加費：1,000円/人 各会毎に現地支払い。

交通/宿泊：各会毎に。 宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近又は土合山の家
(tel 0278-72-5522) 等。

尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。

参加会の事前打ち合せ：3/30（木）19：30～県連事務所

持参装備：雪山装備一式（アイゼン ピッケル ハーネス カラビナ スリン
グ ビーコン スコップ ゾンデ棒<プローブ>)

各会毎：ロープ1（9*45 8*30等）

申込み：3/19（日）までに。 別紙申込書にて遭対委員会 伊東へ。

<itou2385@yahoo.co.jp>

その他問い合わせ：遭対委員会 岡田へ ken-ichi@f4.dion.ne.jp

又は fax：043-271-4704。

重大事故は、家族、友人、山仲間を悲しませ、大きな負担かけます。
転ばぬ先の杖、最悪を想定して、準備万端整えての山行は、山を
愛し楽しむ者の常識です。

良い機会です。日頃、山行を共に楽しんでいる、仲間と一緒に受講
して下さい

日本 勤労者山岳連盟第 32 期 第 1 回評議会 参加報告

ちば山の会 菅井 修

- ◆ 開催日時・場所 2月18日13:00~19日 晴海グランドホテル
- ◆ 第1日目13:00 開会 会長挨拶 議事日程 議長選出後理事会から議案提案
- 1号議案 第32期上期の活動総括と第32期下期の活動方針
 - ・全国理事は、従来首都圏より選出されていた。今期より広域理事会制度を導入し、全国9ブロックから1名を基本に9名が選出された。遠方の理事は、スカイプを利用して会議に参加している。
 - ・遭難事故が右肩上がりが増え続けている。2016年度は死亡・行方不明者8名があった。行方不明は単独の21歳の学生、81才男性の心疾患による死亡事故も報告された。また、安全登山につながる登山計画書の作成、入下山連絡の重要性も指摘された。安全登山に組織的に取り組む体制の整備も出された。
 - ・労山の力を結集し登山界に通用する「ハイキングスタンダード」の2017年度に完成を目指す取り組みが集会された。（検討委員会に松戸山の会・大越氏参加）
- 2号議案 「労山パートナー制度」（個人会員制度）の閉鎖について
経過説明 最高時177名 現在120名
今後新規会員の募集及び現会員の更新はしない。 1年以内に閉鎖する。
現会員は既存の会・クラブへの加入を案内する。
- 3号議案 第32期上期会計報告及び監査報告 ・第32期下期予算提案
質疑応答・討論
 - ・個人会員120人に対する対応やパートナー制度の経費、閉鎖問題に集中討議。
 - ・提案されたパートナー制度閉鎖に対して、取り下げの動議が出された。
閉鎖取り下げに反対多数で、全国連盟の提案どおり採決にて閉鎖が決定した。
- ◆ 第2日目 8:30 開会
2017年度の全国的集会・会議予定が提案された、関係の深いものを記す。
 - ・全国自然保護担当者会議 2017年 秋
 - ・女性と登山全国集会 12月 2日~ 3日 埼玉県 国立女性教育会館
 - ・全国ハイキング学校 9月16日18日 全国連盟ハイキング委員会主催
 - ・自然保護集会 2017年 夏 尾瀬国立公園
 - ・山岳団体自然環境連絡会
- 質疑応答・討論
 - ・「労山パートナー閉鎖問題」に集中した。
安全登山サポートシステムは今後、会員の安全対策に生かす方策を検討する。
 - ・議案採決
1号議案・2号議案・3号議案 とともに、賛成多数で可決された。
- ◆ 参 考 全国連盟組織数 千葉県連盟
 - ・ 2016年度 19, 985名 (623団体) 768名 (19団体)
 - ・ 2017年度 19, 534名 (616団体) 756名 (18団体)

海外登山へのお誘い

アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ5895m登頂とサファリ13日間

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

ハイカーであれば誰でも『一度は登ってみたい!』と思う山ではないでしょうか?
でも、高山病が気になる、長期間が必要、費用が高い等でためらってはいませんか?
何度かのアップダウンのある高所順応の比較的し易い『レモシヨ・ルート』で挑戦します。
併せて、アフリカまで行ったのですから、サファリも楽しみましょう!

<期 日> ①2017年9月19日(火)～10月1日(日)<13日間>サファリあり
②2017年9月19日(火)～29日(金)<11日間>サファリなし

<費 用> ①約57万円(サファリあり) ②約50万円(サファリなし)

※燃油サーチャージ 航空券往復、ホテル、チャーターバス、ビザ代/取得代行手数料
別途必要になるかも… 成田空港利用料、タンザニア出国税/空港税、食事(ほぼ全食、機内食含む)
(2月時点では、なし) 登山関連(ガイド、サブガイド、ポーター、コック)、チップ、サファリ等の費用を含む

<登山コース> レモシヨ・ルート(6泊7日、テント/2名1張) **テントの運搬・設営は現地スタッフが行います。**

①は、『タランギーレ国立公園』でサファリ観光(2泊3日、ロジ泊)

<募集人数> 15名 (原則先着順) **登山時、客1名にポーター1名付き、預け荷物15kgまで。**

<申込方法> 1)参加希望者は、申込先(安彦)まで『参加申込書』をメールにて請求してください。
メールには、必ず、『氏名』、『所属会名』、『携帯電話番号』等を記入願います。
2)申込みのメールが届きましたら、『キリマンジャロ登山参加申込書』をお送りします。
3)『キリマンジャロ登山参加申込書』に必要事項を記入し、申込先まで返信ください。
その際に、『パスポート(写真のある見開き2ページ)』のコピーも添付願います。

<申込締切> 2017年3月26日(日) ※4月中旬に旅行会社に正式依頼予定です。

<問合せ・申込先> 安彦秀夫(あびこひでお) 東葛山の会 (千葉県連海外委員会事務局)

E-メール: mt25hm4abichan49@gmail.com (全て半角)

携帯電話: 090-5827-0571

(関心のある方は、先ずは一報を…!)

<日程・13日間> 詳細日程は、参加者決定後、改めて現地旅行会社と調整します。

<食事>

日時	行 程 (→:飛行機、⇒:チャーターバス)	宿泊	朝/昼/夕
①9/19(火)	20:00 成田空港第1旅客ターミナル南ウイング カタール航空カウンター付近集合 (歩行距離/時間) 成田空港発22:20(QR807)→ (キャンプ地)	飛行機	-/-/機
②9/20(水)	→ドーハ03:30着(乗換)08:45発(QR1355)→キリマンジャロ空港14:40着 ⇒モシ (夕食:前夜祭) モシ	ホテル 約900m	機/機/●
③9/21(木)	モシ⇒ロンドロシ・ゲート(登山ガイド合流、入山登録) (7km/3~4hr) ⇒レモシヨグレイズ(2100m) 荷物仕分け後ゆっくり登山開始 ムクブワ・キャンプ	テント 2780m	●/○/○
④9/22(金)	森を抜け、急勾配を登り、荒野ゾーンを通り、 (8km/4~5hr) シーラ・リッジを越えてシーラ・プラターのキャンプ地へ シーラ1・キャンプ	テント 3500m	○/○/○
⑤9/23(土)	高所順応を意識してゆっくり歩き、シーラ・プラターを (6km/3~5hr) 横切ってキャンプ地へ シーラ2・キャンプ	テント 3900m	○/○/○
⑥9/24(日)	4500mの順応を意識して、ラバ・タワー(4630m)まで登り、 (10km/7~8hr) その後、高度を下げてキャンプ地へ バランコ・キャンプ	テント 3960m	○/○/○
⑦9/25(月)	サドル(砂礫帯)のなだらかな道を歩き、 (8km/7~8hr) バランコ・ウォールの急斜面を登りキャンプ地へ バラフ・キャンプ	テント 4650m	○/○/○
⑧9/26(火)	午前0時出発。ジグザグの道を登りステラポイント(5740m)へ。 調子の良い人は、 ウフルピーク(5895m) に登頂。 (19km/13~15hr) バラフ・キャンプに一気に下り、サドルを経てキャンプ地へ ムウェカ・キャンプ	テント 3080m	○/○/○
⑨9/27(水)	荒野ゾーン・森林ゾーンを経てムウェカ・ゲート(1680m)へ。 (10km/3~4hr) ⇒モシ(荷物回収)⇒アリュウシャ (夕食:登頂祝杯) アリュウシャ	ホテル	○/×/●
⑩9/28(木)	アリュウシャ⇒タランギーレ国立公園(約3時間) 夕方、サファリ・ドライブ実施 タランギーレ	ロッジ	●/△/●
⑪9/29(金)	早朝と夕方の2回、サファリ・ドライブ実施 (日中はフリー) タランギーレ	ロッジ	●/●/●
⑫9/30(土)	タランギーレ国立公園⇒キリマンジャロ空港(約4時間) キリマンジャロ空港発15:40(QR1355:ザンジバル経由)→ドーハ着23:20	飛行機	●/×/機
⑬10/1(日)	ドーハ発03:20(QR806)→成田空港着19:00 通関後解散	---	機/機/-

<注> 食事 ●:ホテル又はレストラン、○:テント、機:機内食、△:ピクニック・ランチ、×:各自払い

※機内食は、軽食も含む。×は、今後交渉予定

※<11日間コース>の場合、⑩アリュウシャからキリマンジャロ空港に行き帰国します。

ローマンタン・ホーストレッキング 報告（最終）

広木 国昭（ちば山の会）

ローマンタンは正式には、ネパール連邦民主共和国ダウラギリ県ムスタン郡首都ローマンタンである。チベット語で「肥沃な平原」の意味である。

インドとチベット国境のヒマラヤ圏には、チベット系民族の小さな自治国が幾つかある。チベットの政変・亡命や民族間の抗争に加えチベット仏教の派閥問題等により、新天地に生活を求め王国を築き発展して来た。一例として、インド・ショッキム州にはショッキム王国が誕生していたが、1706年にブータン王が奪い取った。現在は王政自治国幸せの国「ブータン王国」として知られている。

インドや中国、イギリスの国策や領土問題に翻弄されて来た小国の歴史や文化を調べ、現地で見聞きして再発見する事は楽しみであり大変有意義である。

ムスタン王国は13世紀に建設され、1769年に、ネパール王朝誕生後もネパール領の自治国として自治権が与えられていた。2008年、ネパール政府が藩王制廃止を決定したことで現国王は退位した。国王一族は、カトマンズに住んでいて祭儀などの時に戻るそうである。

今回のエージェントは、ネパールでの常宿であるホテルオーナーの紹介で王様の子息の会社をお願いした。宿泊や昼食の手配、お世話になった馬と馬方も王様の所有でローマンタンから来てくれた。行く先々で王様の客人としてビップな待遇を受けた。途中のホテルでは、一室しかないトイレ・温水シャワー付の部屋、王宮の見学は親族の案内でお茶とお菓子の歓迎を受けた。王政が廃止されても、王族の威光は健在であり王宮などの施設は観光施設として保存されるのだろう。

長い間の鎖国から、1992年にムスタン入国が解禁され外国人トレッカーが急増し、大きな近代的ホテルが建設されている。人々の生活も大きく変わり、電化製品など生活用品からバイク・自動車も全て中国製である。チベットとの国境には、自動車道も開通して買い物にも自由に行ける状況である。

最後の日、所要でローマンタンに来ていた子息がホテルに来て歓待してくれ、帰路のジープまで手配して見送ってくれた。3日後、ジョムソン空港で偶然に会いカトマンズまで一緒に帰ってきました。温厚でとても気さくな人でした。



たった一軒の喫茶店で、気さくな王子様が待っていて歓迎してくれた。



喫茶店の前で、付き人二人（中央とその右側）と、ノー天気で明るいガイド（左端）

- 6日目 ツアラン —— ローマンタン（泊）

ツアランの外れからガレ場を下り小さな沢を渡った所で乗馬する。国境に続く荒涼とした広大な平原が山間部まで続き、チベットとの国境には6000m峰が連なっている。冬に向かう大地は寒々とした風景で、収穫後の畑には馬が放牧されていて、その数の多さに驚くと同時にムスタン王国・ローマンタンに来た事を実感する。

ローマンタンは、城壁の中の小さな街で狭い路地が縦横にある。木と土壁で造られたゴンパや住宅があり、いかにも生活の場といった印象である。狭い空間で肩を寄せ合う共同生活で、厳しい自然や外敵と闘って来たのだろう。カトマンズなどのように、生活の排出物が路上に放置されている事はなく民族の意識の違いを感じる。王宮は質素で仏間には古い仏壇や仏像が大事に飾られている。

現在、人口が増えた事や観光客が急激に増えた事などにより、城壁の外にも住宅やホテルが建設され、公共のコミュニティー施設なども建設されている。



城壁の外の集落・公共の施設や学校



ローマンタンの郊外？
原野の中の古いチオルテンと国境の山

- 7日目 ローマンタン滞在

ローマンタンのホテルは、中央が吹き抜けで太陽光の入る暖かいロビーには、洗濯物や寝袋が所狭しと干されている。部屋はバス・トイレ付であるがお湯は出ないので風呂には入れない。午後になると風が強くなってすきま風が入り、急激に冷え込んで寒い。食事は、若いスタッフが厨房を仕切っていた、観光客が増えたことにより夏の間だけの出稼ぎが増えているとの事である。

チベット国境に近いチョサールまで馬にゆられてビスタリー。ここには断崖の洞窟の遺跡、シサ・ゾン・ケベがある。近くにある3か所の遺跡見学共通チケットが1000ルピー、ローマンタンで一番の観光施設でジープの送還、トレッキングで来る人も多い。そして何より観光地を実感したのは、「ペンシル」「スイーツ」と手を出して寄って来る子供達がいた事である。

憧れの禁断の地ローマンタンも
すっかり観光地になっていた。



ケベの窓から



ケベの内部、生活空間



シサ・ゾン・ケベ 岩山全体が住居

- 8日目 ローマンタン滞在

滞在最後の日、ローマンタンから馬で2時間、良く耕された畑に囲まれた裕福な村を訪ねた。この村は6日間お世話になった、馬方の故郷で現在は家族4人で生活している。奥さんが、美味しいチベットバター茶を造ってくれた。6歳の男の子は馬に乗るのが上手との事、この地方では女性でも馬に乗るそうです。この周辺には、トレッカーや観光客は来ないので静かな村である。厳しい自然の中で、馬を飼い蕎麦や麦を作り繁栄して来た民族の強さが感じられる。



古い遺跡と集落、周りは豊かな畑



馬方さんの家族、手入れの行き届いた台所、もちろんガス・水道はありません

ホテルに戻ると王様の子息が来ていて、ホテルの主人と女将さんが緊張した様子で帰りを待っていた。知り合いならば教えてくれれば良かった、と言われその後の対応が全く変わり、何だか悪い気がした。王政が廃止されても王族の権威は失われていない事を知り住民との信頼関係が強かった事を実感した。

ローマンタンで、一軒の喫茶店に招待され、メイドインフランスのコーヒーメカで入れたエスプレッソとケーキは「此処はどこだ?」と思う位、美味しかった。



王宮の仏間・細工が豪華です



最新のコーヒーメカでエスプレッソを

- 9日目 ローマンタン—— マルフア——タサンビレッジ

馬にゆられて4日間の行程をジープで1日、見るものに感激した道中を、一気に出発地ジョムソンに戻る。ジョムソンは避寒の住民や観光客で賑やかで、ネパールである事を実感した。マルファに一泊して、ニルギリ峰・ダウラギリ峰を眺めてカリカンダキ川の河原を下る。何回か宿泊している、ダウラギリのビューポイントに建つ「ロッジ・タサンビレッジ」に連泊して、ジョムソン～ポカラ～カトマンズに戻った。ローマンタンは長年の夢であった。しかし、ここも開発や観光化に直面していた。それはそれとして、住む人々の生活が豊かになり満足するのであれば、我々よそ者が心配する事でなくそこに住む人々が決めればよい事だ。正直もう少し早く行きたかった。

以上

全国連盟事務局員が変わりました。

桑村さん・大東さん お疲れさま、そしてありがとうございました
渡辺さん、小池さん、よろしくお願いします

全国評議会初日（2/18）議事終了後に、2月20日をもって定年退職された全国連盟事務局員の桑村昌子さん、大東伸江さんご両名に、感謝をこめて花束が贈呈されました。

桑村さんは1996年6月21日採用で、勤続20年8ヵ月。遭難対策基金の仕事を手始めに、その後登山時報の編集を担当しました。桑村さんは、「全国の皆さんの協力があって20年間勤めることができた」と感謝を述べました。

大東さんは、1999年5月10日採用で、勤続17年9ヵ月。「労山の会計業務を始めた頃は貸借対照表もなく苦勞したが、思い出は基金担当者講習会で全国の各地へ出向く機会があって、山の仲間と知り合いになれたのがうれしかったことだ」と、あいさつしました。

二人に代わって、昨年10月から渡辺明さんと今年1月から小池藍さんが勤務しています。千葉県連の皆さん、これから、新しい二人をよろしくお願いいたします。



左が桑村さん 右が大東さん



左が渡辺さん 右が小池さん

千葉県連は事務局が確立出来ず、カレンダー購入や新特別基金加入・交付等で、桑村さん・大東さんには大変ご迷惑をおかけしました。

新しいお二人は慣れるまで大変です。特に新特別基金に関する事、カレンダーの取り扱い等は、全国事務局に、直接問い合わせしないで会の先輩や県連役員に聞いて下さい。全国事務局は、全国47地方連盟・616団体・19,534名のお助け女子です。千葉県連の皆さん、よろしくお願いします。!!

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への・ご意見や問合せは、県連盟
ホームページ・事務局への問い合わせま
でお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労ゆう」への
問い合わせやご意見は
千葉県連盟ホームページから
「ちば労山ゆう」にお願いします
 - ◎ ゆう通常総会のお知らせ
 - ・ 4月13日(木) 19時より
 - ・ 船橋市西部公民館
 - ◎ 支援物資販売活動について
支援活動参加費・交通費などの補助に使用しています。
「食べて復興支援」を合言葉に被災地・気仙沼直送の海産物の販売に取り組んでいます。
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」を常時用意あり。
下記に連絡をお願いします。
広木 国昭 Eメールアドレス
danphiro@zpost.plala.or.jp

編集後記

- ・お詫び：2月16日(木)に実施した「県連理事会報告」は担当者の都合で掲載できませんでした。申し訳ありません、4月号に掲載します。
- ・今月号は、投稿が少なくて紙面が貧弱になりました。
会の山行・行事・会自慢・耳よりの話・この際だから県連の仲間に紹介して下さい。締め切りなどはありませんので、気が向いた時に送ってください。
- ・ちばニュースの、発行システム・内容など改善を検討しています。
ご意見・要望をお寄せください。

—— 編集者 ——

県連活動予定表

3月		行事予定	4月		行事予定
1	水		1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土	ゆう植樹祭 谷川浜	4	火	役員会
5	日	〃	5	水	
6	月		6	木	
7	火	役員会	7	金	
8	水		8	土	雪上技術講習会(マチガ沢)
9	木		9	日	〃
10	金		10	月	
11	土		11	火	
12	日		12	水	
13	月		13	木	ゆう総会
14	火		14	金	
15	水		15	土	
16	木	理事会	16	日	
17	金		17	月	
18	土		18	火	
19	日		19	水	
20	月		20	木	理事会
21	火		21	金	
22	水		22	土	
23	木		23	日	
24	金		24	月	
25	土		25	火	
26	日		26	水	
27	月		27	木	
28	火		28	金	
29	水		29	土	
30	木		30	日	
31	金				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ